

日本の歴史がよりよくわかる世界の歴史

日本と世界の歴史の関わりが一望できるイラスト世界地図

特色
4

地図とイラストによるイラスト世界地図を新設し、日本の歴史を世界の動きのなかに位置付けて見ることができます。

地図掲載ページ一覧 ※太字：ここで扱っているページ

ページ	タイトル
p.42-43	奈良時代のころの世界
p.98-99	16世紀初めごろの世界
p.156-157	欧米諸国の世界進出



やってみよう

1. 地図の中から、下に挙げたA~Cを探してみよう。また、その人々がどの宗教を信仰しているか、考えてみよう。

A 皇帝に冠を授ける教皇



ヒント →p.94

B メッカに向かって礼拝する人

ヒント →p.23

C 海を渡る僧侶

ヒント →p.46

2. 地図の中から、このコップを作っている人と、コップを持つ人を3人以上探して、ペルシャから日本まで地図をたどってみよう。



📌 瑠璃杯 西アジアのペルシャで作られたといわれています。(正倉院宝物)



- 地図をよく見るためのキーワード
- ・仏教 →p.22
 - ・キリスト教・イスラム教 →p.23
 - ・シルクロード →p.19
 - ・唐の都 長安 →p.40
 - ・正倉院 →p.45
 - ・遣唐使 →p.46
 - ・鑑真 →p.46
 - ・聖武天皇 →p.45

ツンドラ	シルクロード
針葉樹林	シルクロードにつながる道
広葉樹林	草原の道
地中海性樹林	海の道
草原	
砂漠	
熱帯雨林	
山岳地域林	

New 原寸大



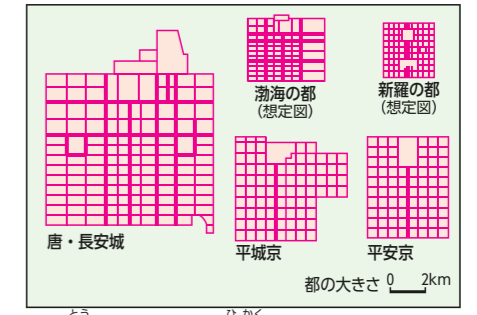
タイムトラベル同様、地図帳のさくいん記号のように記号を使って位置を確認できます。

大陸の影響を受けた天平文化

学習課題 奈良時代にはどのような特色を持った文化が展開したのだろうか。

唐中心の国際関係と栄える東西交流 日本の国づくりに際しては、唐を手本とするため、7世紀以降、盛んに遣唐使が派遣されました。同じく、東アジアの各国が唐を訪れて、大陸の東側に大帝国を築いた唐の政治のしくみや進んだ文化を学び取るようになりました。こうして8世紀の東アジアでは、唐を中心とした国際関係

が安定するなかで、漢字を通じた共通の文化が広がりました。さらに8世紀には、大陸の西側でイスラム教徒の王朝が大帝国を築き、唐とも接しました。貿易が盛んな都市で生まれたイスラム教の商人は、砂漠や海で長い距離を移動するための知識や技術にたけており、唐にも訪れたほか、分裂したローマ帝国とも貿易していました。そのため、ユーラシア大陸を東西に文物が行き交い、東の長安と西のバグダッドが国際都市として栄えました。



📌 唐と各国の都の比較

日本の歴史がよりよくわかる世界の歴史

日本と世界の歴史の関わりがよくわかる本文

近代を例に

世界 近代国家に見られる特徴

概論 p.148,154

- ① 自由で平等な社会
- ② 工業の発展
- ③ 徴兵制による国民軍
- ④ 根強く残る差別

具体事例 p.148-155

- イギリス：市民革命・産業革命 ●アメリカ：独立戦争・南北戦争
- フランス：フランス革命 ●ドイツ：ドイツ帝国成立 など

日本 日本の近代国家建設

- ① 自由で平等な社会
- ② 工業の発展
- ③ 徴兵制による国民軍
- ④ 根強く残る差別

身分制の廃止 殖産興業 徴兵令 「解放令」後も残った差別

第4章 近代(前半) 近代国家の歩みと国際社会

第1節 欧米諸国における「近代化」

第1節の問い p.148~159 「近代化」の進展で、欧米諸国の政治や社会はどのように変化したのだろうか。



イギリスの議会(庶民院, 1710年)

議院にいる人々は、どのような身分の人々なのかな。

権利の章典(1689年)

1. 国王は、議会の承認なく法律を停止することはできない。
9. 議会における言論の自由は、守られなくてはならない。
13. 議会はしばしば開かれなくてはならない。

(一部要約・抜粋)

解説 近代の政治体制

君主政治	立憲君主政	共和政
国王や君主の権力があり、政治を行う	国王や君主の権力が法によって制限され、国民が政治を行う	国民が政治を行う

自由で平等な「市民」、工業の発達による資本主義社会の誕生など「近代国家」を理解する上で重要な概念を丁寧に解説しています。

富国強兵の政策

新政府は、欧米諸国に劣らない強い国をつくるためには、国を豊かにして力をつけ、強い軍隊をもつ必要があると考え、富国強兵の政策を進めました。この政策の中心となったのは、**② 産業の発展による経済力の向上(殖産興業)**、西洋式の軍隊づくり**③ 徴兵令**、改革のために必要となる財源を安定させる税制度の改革(地租改正)、そしてこれらの改革を担う人材を養成するための教育制度の採用(学制)でした。

殖産興業 新政府は、まず「富国」のため、お雇い外国人とよばれた外国人技術者や学者を招きました。欧米の進んだ技術や機械を取り入れ、**② 各地に製糸・紡績などの官営工場や軍需工場を造り、近代的な産業を育てようとしたのです(殖産興業)**。

通信の分野では、1869(明治2)年、東京・横浜間に電信が開通しました。1871年には前島密らによって郵便制度が作られ、全国均一の料金で郵便が利用できるようになりました。また、交通の分野では、翌72年に新橋(東京都)・横浜間、続いて神戸・大阪・京都間に鉄道が開通しました。鉄道は各地を結び付け、多くの人や物を

② 工業の発展

人物コラムでも世界と日本の関連を意識

世界史部分の人物コラムでも、日本の歴史との関連を意識しています。ここでは、ドイツが日本の国づくりに影響を与えたことに触れています。

ビスマルク 1815~98

明治の日本の手本となった宰相

ビスマルクは、ドイツ皇帝の権力が強い憲法を作る一方、工業化による急速な経済発展を実現しました。伊藤博文(→p.186)は岩倉使節団(→p.178)の一員としてビスマルクに会い、その政策に感心し、ドイツを模範とする国づくりを目指しました。

伊藤博文を拜む伊藤博文の風刺画

p.155

1 市民革命の始まり

学習課題 イギリスでの革命や、アメリカでの独立戦争によって、政治のあり方はどのように変化したのだろうか。

変わる欧米諸国 日本の江戸時代にあたる17~19世紀は、ヨーロッパが大きく変化した時代でした。政治では、身分制が廃止されたり、専制君主政を抑えたりすることで、**① 自由で平等な「市民」が、法の支配に基づいて政治を行う「市民社会」**に変わり始めました。それにより、これまで国王と支配身分だけが政治を進めてきたのに対し、市民たちがそれらを倒して主権者となり、議会を通じて国家を運営することもありました**(市民革命)**。産業では、**② 工業が発達して資本主義社会が生まれました**。こうした政治や産業の動きを併せて、「近代化」とよびます。

① 自由で平等な社会

② 工業の発展

徴兵令の発布

新政府は「強兵」のためには、それまでの武士中心の軍隊ではなく、**③ 国民による西洋式の軍隊をつくる必要があると考えました**。1873年に**徴兵令**を出し、満20歳になった男子から徴兵を行いました。しかし、多くの徴兵免除の規定があったため、実際に兵役に就いた人の多くは、農家の次・三男た

③ 徴兵制による国民軍

差別と闘った人を取り上げたコラム

未来に向けて

人権 差別からの解放運動

江戸時代に差別された人々は、平民身分となる「解放令」を喜んで迎えたが、それに反対する人も多く、差別された人々を襲撃する一揆も起こりました。「解放令」のあと、主な仕事であった皮革業にほかの人々が参入したことにより、差別された人々の生活は一層厳しくなりました。それでも彼らはひるまず、国民としての平等を求め、解放運動を進めました(→p.223)。

総人口	約3313万人
皇族・華族・士族	5.5%
平民	93.6%
旧神官・僧	0.9%

1872年の身分別人口の割合(関山直太郎「日本の人口」)

▶コラム「未来に向けて」では、差別が残ったことだけでなく、差別と闘い平等を求める運動に立ち上がった人々がいたことを扱っています。

p.171

4 欧米諸国の近代国家建設

学習課題 アメリカ・ドイツ・ロシアで、それぞれどのように近代国家の建設を進めたのだろうか。

近代国家と「国民」の創出 19世紀に入ると、産業革命やフランス革命の影響を受けて、ヨーロッパや北アメリカの国々では、自由・平等の考え方の下に人々を「国民」として一つにまとめる近代国家の建設が進められました。近代国家では、**③ 徴兵制を通じて「国民軍」が作られ、学校や職場を通じて「国民」にふさわしい共通の言語や生活のしかたが広められました**。④ その一方で、人種・民族・宗教・文化などを背景に、「国民」から除外される人々もいました。

③ 徴兵制による国民軍

④ 根強く残る差別

古い身分制の廃止

新政府はまた、江戸時代までの身分制を廃止し、天皇の一族を皇族、公家や大名を華族、武士を士族とし、**① 百姓・町人を平民**としました。平民も正式に名字を名乗ることが許され、異なる身分間での結婚や、職業・居住などの自由も認められました。また、1871年の布告(いわゆる「解放令」)によって、江戸時代に差別された人々の呼び名が廃止され、身分・職業も平民と同じとされました。これにより古い身分制はなくなりましたが、国民全体がすぐに平等になったわけではありませんでした。新政府は、差別されていた人々の生活を改善する具体的な政策をとらず、長く続いた慣習や差別も簡単には改まらなかったので、結婚・就職・居住などに関する**④ 差別は根強く残りました**。

① 自由で平等な社会

④ 根強く残る差別